

2月6日から、市内で自動運転バスの実証運行が行われます。昨年は氷まつり会場周辺の短い距離を走行しましたが、今年は市街地と大空地区の計3ルートに大幅に拡大します。近未来をモチーフにしたデザインと、日高山脈や自然をイメージしたデザインが施された2台のバスが帯広の街を走る予定です。

皆さんは自動運転に対してどのようなイメージを持っているでしょうか。便利な移動手段としての期待がある反面、安全性への不安や実用面での懸念もあるかもしれません。私自身は昨年、実際に試乗したことで自動運転の車に対するイメージが大きく変わることになりました。まず外観ですが、試乗したバスにはたくさんのカメラやセンサーが付いています。このカメラで常に周囲を監視しているのだそうです。人間の目は二つ

しか無く、当然後ろは見えません。こうしたことから、人間よりも早く確実に危険を感知しているかもしれません。車内に入るとハンドルの運転席もなく、テレビゲームのコントローラーのようなものを持ったオペレーターが一番後ろの席に座っています。発車時はスタートボタンを押しますが、走行中のブレーキは緊急時を除き、自動で制御されているそうです。こうなると将来的には免許のいらない世界がくる可能性もあります。

走行中に舞った雪でセンサーがふさがれ、急ブレーキが掛かったこともありました。もし人間が運転中に視界を奪われたらパニックを起こさずに安全に止まれるのでしょうか。時速20kmの走行は実用的ではないようにも思えますが、運転手なしで確実に移動ができることを考えると、例えば人間が買い物に行くのではなく、逆の発想でお店側が移動してくるサービスも考えられるかもしれません。人の移動手段としての輸送機器ではなく、これまでの固定観念にとらわれない新たなサービスにつながる技術として捉えることで、今後、懸念されているさまざまな課題を解決する可能性が格段に広がると思います。

国においても物流問題の解決に向け、ドライバー一人で複数のトラックを連ねて運行する実験を行うなど、自動運転の可能性を広げる取り組みが行われています。自動運転の実用化や普及にはまだ時間が必要ですが、この機会に多くの皆さんに実際に試乗していただき、自動運転がつくる未来の可能性について、今から一緒に考えていきたいと思っています。

市長コラム

夢
かなうまち

おびひろ

自動運転がつくる未来

帯広市長
米沢 則寿



しか無く、当然後ろは見えません。こうしたことから、人間よりも早く確実に危険を感知しているかもしれません。車内に入るとハンドルの運転席もなく、テレビゲームのコントローラーのようなものを持ったオペレーターが一番後ろの席に座っています。発車時はスタートボタンを押しますが、走行中のブレーキは緊急時を除き、自動で制御されているそうです。こうなると将来的には免許のいらない世界がくる可能性もあります。

走行中に舞った雪でセンサーがふさがれ、急ブレーキが掛かったこともありました。もし人間が運転中に視界を奪われたらパニックを起こさずに安全に止まれるのでしょうか。時速20kmの走行は実用的ではないようにも思えますが、運転手なしで確実に移動ができることを考えると、例えば人間が買い物に行くのではなく、逆の発想でお店側が移動してくるサービスも考えられるかもしれません。人の移動手段としての輸送機器ではなく、これまでの固定観念にとらわれない新たなサービスにつながる技術として捉えることで、今後、懸念されているさまざまな課題を解決する可能性が格段に広がると思います。

国においても物流問題の解決に向け、ドライバー一人で複数のトラックを連ねて運行する実験を行うなど、自動運転の可能性を広げる取り組みが行われています。自動運転の実用化や普及にはまだ時間が必要ですが、この機会に多くの皆さんに実際に試乗していただき、自動運転がつくる未来の可能性について、今から一緒に考えていきたいと思っています。

国際フェスタ&
国際スポーツ・デー

inとかち

年に1回、十勝で開催される、国際交流イベントです。この機会に、国際感覚を鍛えてみませんか？

主催 十勝インターナショナル協会

問い合わせ 森の交流館・十勝（西20南6、☎34・0122）

国際フェスタinとかち2025

外国料理の紹介、十勝の国際交流団体の活動展示などを行います。

日時 2月8日(土)、10時～15時

会場 森の交流館・十勝、JICA北海道センター（帯広）（西20南6）

一部イベントは事前予約制です。親子で参加してみませんか？

2月5日(水)17時までに、十勝インターナショナル協会ホームページ内のWEBフォームから申し込みください。

英語で遊ぼう

英会話学校や国際交流員による子ども向け英語レッスン

対象 小学校低学年まで（保護者同伴）

定員 各先着30組（3回開催）

海苔巻き作りで国際交流

海苔巻きを外国人と一緒に作ろう

定員 各先着7組（4回開催）

国際スポーツ・デー inとかち

フィンランド発祥の簡単なスポーツ「モルック」を体験し、外国人と交流します。

対象 市民、在住外国人

日時 2月16日(日)、13時～15時

会場 森の交流館・十勝

定員 先着36人

1月21日(火)～2月13日(木)までに、右のWEBフォームから申し込みください。







広報広聴課職員が行く！

オビヒロカメラレポ

OBIHIRO
CAMERA
REPORT

おびひろ動物園の冬期開園期間に併せて写真展を開催しています。全26枚の写真は動物園の職員が一人一枚出展しており、職員ならではの視点で、動物たちのユーモラスな表情が写し出されていました。

また、来園者の投票により優秀な作品を決定する写真コンテストも実施しています。動物園を訪れた際は、お気に入りの一枚を探してみてもはいかがでしょうか。（12月7日、おびひろ動物園）

歴史や文化、産業など、帯広市が幅広い分野において交流を行っている国内外6都市に関するパネル展「知ってる？帯広の姉妹・友好都市」を開催しました。

海外の都市に交流事業で派遣された高校生による手作りの活動報告のほか、交流事業の様子を写した写真も多く掲示しており、各都市の魅力が詰まっていました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、規模を縮小した年もありましたが、現在は再開し、各都市と盛んに交流しています。

派遣事業の詳細は、広報おびひろ3月号で紹介します。（12月17日、市民ホール）

写真展
「スタッフから見た動物たち」

写真展 スタッフから見た動物たち





▲隣に「動物園 1年の裏側」も展示

姉妹・友好都市パネル展



知ってる？
帯広の姉妹・友好都市



広報おびひろ・声の広報・点字広報 毎月1回発行

●発行日/令和7年2月1日 ●部数/7万1000部 ●製作・印刷/株式会社クナウパブリッシング



古紙/バブル配合率70%再生紙を使用